



## 2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年11月12日

上場会社名 株式会社東京ソワール 上場取引所 東  
 コード番号 8040 URL <https://www.soir.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村越 真二  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営戦略本部長 (氏名) 大島 和俊 (TEL) 03-5474-6557  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年12月期第3四半期の業績 (2020年1月1日~2020年9月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	7,673	△38.4	△1,478	—	△1,216	—	△1,215	—
2019年12月期第3四半期	12,448	△0.4	240	△29.3	294	△32.1	145	△47.3

  

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	△362.48	—
2019年12月期第3四半期	43.58	—

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	16,181	8,184	50.6
2019年12月期	16,206	9,891	61.0

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 8,184百万円 2019年12月期 9,891百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年12月期の業績予想 (2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	△26.5	△2,000	—	△1,800	—	△1,800	—	△537.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年12月期3Q	3,860,000株	2019年12月期	3,860,000株
-------------	------------	-----------	------------

② 期末自己株式数

2020年12月期3Q	494,395株	2019年12月期	517,874株
-------------	----------	-----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年12月期3Q	3,354,432株	2019年12月期3Q	3,335,533株
-------------	------------	-------------	------------

(注) 株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する自社の株式は、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	P. 2
(1) 経営成績の概況 .....	P. 2
(2) 財政状態の概況 .....	P. 2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	P. 4
(1) 四半期貸借対照表 .....	P. 4
(2) 四半期損益計算書 .....	P. 6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	P. 7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	P. 9
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P. 9
(追加情報) .....	P. 9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 経営成績の概況

当第3四半期累計期間(2020年1月1日～2020年9月30日)における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う外出自粛の要請などにより、経済活動が制限され景気が急激に後退したことで、今後の先行きは極めて不透明な状況となっております。

当アパレル業界におきましては、消費税増税後の消費マインドの落ち込みに加え、緊急事態宣言による商業施設等の臨時休館や営業時間短縮となり、緊急事態宣言解除後は経済活動が緩やかに再開されたものの、感染拡大の懸念や天候不順の影響もあり、消費需要は低迷したまま依然として厳しい状況が続いております。

このような経営環境の中、当社は2019年を初年度とする中期経営計画に基づき、「卸売事業の収益改善」「小売事業の収益拡大」「新規事業の開発」「事業基盤の強化」に取り組んでおりますが、店頭販売員の雇用確保措置に努める一方で、直営店出店など投資案件の自粛や生産仕入の抑制に加え、あらゆる経費の削減に努めてまいりました。

卸売事業におきましては、継続して取引条件の改善や不採算店舗からの撤退交渉を行いました。小売事業におきましては、直営店「フォルムフォルマ」1店舗の出店に止め、Eコマース販売は、集客プロモーションの強化を行い、展開商品の拡大や在庫の集約を行ったことにより堅調に推移いたしました。また、自社Eコマースとリアル店舗との連携による「ネットで店舗へ取寄せ・取置きサービス」の展開にも取り組んでまいりました。しかしながら、コロナ禍において各種イベントの中止や縮小が継続し商業施設の集客も回復には至らず、店頭販売は大幅に落ち込む結果となりました。

このような取り組みの結果、商品別の売上高は、ブラックフォーマルが54億71百万円(前年同四半期比30.6%減)、カラーフォーマルが10億53百万円(同56.5%減)、アクセサリ類が11億48百万円(同46.3%減)となり、当期の売上高は、前年同四半期比47億75百万円減の76億73百万円(同38.4%減)となりました。

利益面では、返品調整引金の減少もあり、売上総利益率は1.1ポイント好転の49.1%となったものの、売上総利益は前年同四半期比22億1百万円減の37億69百万円(同36.9%減)となりました。販売費及び一般管理費は、店舗閉鎖や売場撤退、臨時休館による短期臨時従業員などの人件費や賃借料の減少に加え、販売促進費や荷造運賃及び旅費交通費の減少もあり、全体では前年同四半期比4億82百万円減(8.4%減)となりました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、営業損失14億78百万円(前年同四半期は営業利益2億40百万円)となり、営業外収益において助成金収入1億93百万円を計上したものの、経常損失は12億16百万円(前年同四半期は経常利益2億94百万円)となりました。また、特別利益として政策保有株式の見直しによる投資有価証券売却益1億76百万円を、特別損失として減損損失8百万円を計上しておりますが、繰延税金資産の全額取崩しによる法人税等調整額1億42百万円(損)を計上したことから、四半期純損失は12億15百万円(前年同四半期は四半期純利益1億45百万円)となりました。

### (2) 財政状態の概況

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末における総資産は161億81百万円となり、前事業年度末に比べて24百万円減少いたしました。これは主に、棚卸資産の増加6億円や無形固定資産の増加3億22百万円があったものの、投資有価証券の減少7億65百万円や売上債権の減少5億22百万円によるものであります。

負債は、前事業年度末に比べて16億82百万円増加し79億96百万円となりました。これは主に、仕入債務の減少10億84百万円があったものの、短期借入金の増加26億によるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べて17億6百万円減少し81億84百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少12億82百万円やその他有価証券評価差額金の減少4億55百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べて、1億9百万円増加し9億58百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は27億21百万円（前年同四半期は3億29百万円の支出）となりました。これは主に、売上債権の減少5億22百万円があったものの、仕入債務の減少10億84百万円や税引前四半期純損失10億48百万円、たな卸資産の増加6億円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は5万円（前年同四半期は6億22百万円の支出）となりました。これは主に、賃貸不動産の取得による支出2億45百万円、有形固定資産の取得による支出54百万円があったものの、投資有価証券の売却による収入3億20百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は28億31百万円（前年同四半期は6億48百万円の収入）となりました。これは主に、リース債務の返済による支出79百万円や配当金の支払額50百万円があったものの、短期借入金の増加26億円や長期借入れによる収入3億82百万円によるものであります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	848,866	958,516
受取手形及び売掛金	2,264,338	1,756,145
電子記録債権	36,307	21,958
商品及び製品	5,107,984	5,820,681
仕掛品	225,803	112,041
原材料	548	2,332
その他	295,830	309,916
貸倒引当金	△457	△358
流動資産合計	8,779,222	8,981,234
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,965,649	1,964,381
その他(純額)	800,614	774,061
有形固定資産合計	2,766,264	2,738,442
無形固定資産		
無形固定資産	226,025	548,607
投資その他の資産		
投資有価証券	1,940,739	1,175,325
賃貸不動産(純額)	2,042,352	2,257,668
その他	451,855	481,721
貸倒引当金	△127	△1,078
投資その他の資産合計	4,434,820	3,913,636
固定資産合計	7,427,110	7,200,686
資産合計	16,206,332	16,181,920
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	746,188	399,657
電子記録債務	1,792,763	1,054,525
短期借入金	1,000,000	3,600,000
1年内返済予定の長期借入金	15,675	40,000
未払法人税等	55,469	30,532
賞与引当金	—	91,341
返品調整引当金	411,000	127,000
資産除去債務	2,040	1,802
その他	794,998	610,594
流動負債合計	4,818,134	5,955,452
固定負債		
長期借入金	402,325	740,000
退職給付引当金	654,279	642,631
資産除去債務	99,005	103,753
繰延税金負債	35,823	6,331
その他	305,004	548,782
固定負債合計	1,496,437	2,041,498
負債合計	6,314,572	7,996,951

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,049,077	4,049,077
資本剰余金	3,732,777	3,732,777
利益剰余金	2,336,813	1,054,038
自己株式	△684,142	△652,738
株主資本合計	9,434,526	8,183,154
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	457,233	1,814
評価・換算差額等合計	457,233	1,814
純資産合計	9,891,759	8,184,969
負債純資産合計	16,206,332	16,181,920

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
売上高	12,448,677	7,673,401
売上原価	6,477,247	3,903,624
売上総利益	5,971,429	3,769,777
販売費及び一般管理費	5,730,867	5,247,899
営業利益又は営業損失(△)	240,561	△1,478,122
営業外収益		
受取利息	300	306
受取配当金	35,107	32,839
受取賃貸料	42,212	89,415
受取ロイヤリティ	11,358	11,256
助成金収入	—	193,998
その他	21,182	19,623
営業外収益合計	110,161	347,441
営業外費用		
支払利息	1,473	22,909
賃貸費用	36,263	53,390
支払手数料	14,303	7,684
その他	4,133	1,970
営業外費用合計	56,173	85,956
経常利益又は経常損失(△)	294,550	△1,216,637
特別利益		
投資有価証券売却益	—	176,536
特別利益合計	—	176,536
特別損失		
減損損失	1,373	8,472
特別損失合計	1,373	8,472
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	293,176	△1,048,573
法人税、住民税及び事業税	147,674	25,309
法人税等調整額	146	142,022
法人税等合計	147,821	167,332
四半期純利益又は四半期純損失(△)	145,355	△1,215,905

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	293,176	△1,048,573
減価償却費	133,370	146,335
減損損失	1,373	8,472
受取利息及び受取配当金	△35,408	△33,146
支払利息	1,473	22,909
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△176,513
返品調整引当金の増減額(△は減少)	156,000	△284,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,278	852
賞与引当金の増減額(△は減少)	106,347	91,341
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△8,151	△11,647
売上債権の増減額(△は増加)	△571,441	522,542
たな卸資産の増減額(△は増加)	△243,023	△600,719
前払費用の増減額(△は増加)	118,878	120,606
仕入債務の増減額(△は減少)	△197,491	△1,084,769
未払金の増減額(△は減少)	△85,036	△154,841
未払消費税等の増減額(△は減少)	77,453	△30,727
その他	△44,566	△191,670
小計	△298,324	△2,703,550
利息及び配当金の受取額	35,408	33,146
利息の支払額	△1,972	△26,088
法人税等の還付額	—	11,701
法人税等の支払額	△64,543	△36,989
営業活動によるキャッシュ・フロー	△329,432	△2,721,781
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△10,739	△5,221
投資有価証券の売却による収入	—	320,215
賃貸不動産の取得による支出	△320,400	△245,910
有形固定資産の除却による支出	△16,330	—
有形固定資産の取得による支出	△256,860	△54,281
有形固定資産の売却による収入	2,771	—
資産除去債務の履行による支出	△5,564	△5,783
貸付けによる支出	△2,000	△10,000
貸付金の回収による収入	5,445	4,464
敷金及び保証金の差入による支出	△12,632	△32,610
敷金及び保証金の回収による収入	10,512	12,385
預り敷金及び保証金の返還による支出	△17,179	—
預り敷金及び保証金の受入による収入	—	16,791
その他	1	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△622,976	50
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	400,000	2,600,000
長期借入れによる収入	418,000	382,000
長期借入金の返済による支出	—	△20,000
配当金の支払額	△99,075	△50,783
自己株式の取得による支出	△365	△193
リース債務の返済による支出	△70,531	△79,642
財務活動によるキャッシュ・フロー	648,027	2,831,380

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△304,381	109,650
現金及び現金同等物の期首残高	1,022,863	848,866
現金及び現金同等物の四半期末残高	718,482	958,516

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症は徐々に収束し、その影響が当事業年度末まで継続するという仮定のもと、固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りを行っております。